

お問い合わせ先

〒812-0026 福岡市博多区上川端町9-35
リノベーションミュージアム冷泉荘
A12号 冷泉荘事務局
(11:00～19:00、火曜定休)
TEL 092-985-4562
mail yj@tenjinpark.com
https://www.reizensou.com/

[SNS]
X(旧Twitter),
Instagram,
Facebook
@reizensou

冷泉荘YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/@reizensou_hakata

冷泉荘 交通アクセス

地下鉄空港線中洲川端駅下車・5番出口から上川端商店街を通り、キャナルシティ博多方向へ。「博多ラーメンはかたや」と「うどんウエスト」の間の道を冷泉公園側に曲がり、博多消防署冷泉出張所手前の小道を入ってすぐ。(※駐車場なし)

リノベーションミュージアム

冷泉荘とは・・・

ビルストック文化の学び合い、そして発信の場
博多区上川端町で築67年を迎えた昭和のレトロビル、リノベーションミュージアム冷泉荘。「福岡の古い建物を大切に活かす(ビルストック活用)」を基本理念に、「ひと」「まち」「文化」を大切に思う人たちが集まっています。2011年1月には耐震補強工事を行い、2012年、第25回福岡市都市景観賞 活動部門にて部門賞受賞。2024年、国登録有形文化財(建造物)に登録。100年続く活動を目指して「持続的」で「環境型」の建物として文化発信を行なっています。



表紙の写真

A22号 ソニ韓国語教室

満月のような形から「月の壺」と名付けられた韓国の伝統美を代表する「달항아리」。完璧な円形ではなく少し歪んでいるのが特徴ですが、完璧ではないからこそ愛おしい「不完全の美」を感じさせます。この月の壺のようにソニ韓国語教室では不完全な皆さんが一つになり頑張っています。時には優しく「잘 알겠습니다」、時には厳しく「좀 더 열심히...」



column REIZENSOU 4月

ドネルモ伝 102

常連なのに、知らないパン屋 篇

夢の中に、行きつけのパン屋がある。小高い丘陵地の商店街の一角にあり、客が2、3人入れればうぎゅうになる、小さな店だ。もう何度も通っているのに、店名も店員の顔も思い出せない。

私は口の中をケガするようなバリッとした固いパンが好きなのだが、柔らかいパンが主流の日本においては、ハード系のパン屋に出向かなければ、なかなか手に入らない。そんな中、7年ほど前から夢の中に時たま現れるようになったのが、そのパン屋だ。

ダークウッドの板張りで落ち着いた雰囲気の内には、ケーキ屋のようなガラスケースがあり、その中にセイボリーからスイーツまで、素朴で洒落たパンが並んでいる。人気店なので、夕方に行くとはほとんど売り切れていることも。その日のオススメはガラスケースの上に飾られていて、欲しい分だけ切り分けてもらう。行くたびに新しいメニューがあり、飽きることがない。この間はナッツ入りの大きな重いリュスティックを半分に切ってもらい、抹茶のパウンドケーキを丸ごと一本買って、うきうきで帰った。

でも、目が覚めると手元にパンはない。今まで行ったことのあるパン屋の中で、1、2を争うほど、めちゃくちゃ美味しいパンであることを知っているのに、永遠に食べることはできない。私はいつ、あの店のパンが美味しいことを知ったんだろう。でもやっぱり、今日は行けたら良いなと願い、どんな新しいパンがあるだろうと、幻を夢見ながら眠る。

【今月の担当】櫻井 (NPO法人ドネルモ 職員)

冷泉荘 プロデュース スペースRデザインの レトロビルこぼなし



←【コーポ江戸屋敷145号室】プロジェクト説明応募はこちら

久留米の団地の一室が、次世代職人の教室になる春。

こんにちは!暖かい日も徐々に増えてきて、何か新しいことを始めてみたいくなるような春の気配を感じますね。コーポ江戸屋敷でも、この春からいよいよ新しいプロジェクトが動き出します。

今年4月から9月までの6ヶ月間、団地の145号室を舞台に「次世代職人カレッジ」が開講します。全12日間のプログラムで目指すのは、本業の専門性を軸に持ちながら、前後の工程も理解し、現場全体の流れを把握して動ける「セミプロ多能工」という新しい職人像です。建設業界が直面する担い手不足という課題に対し、この小さな団地から一つの答えを出そうとしています。

学びの場はどこかの教室ではなく、団地の一室。実際に145号室をリノベーションしながら、下地から仕上げまでの一連の工程を経験していく「施工現場が教室になる」取り組みです。

また、このカレッジ開講にあわせて145号室では、入居者兼カレッジ参加者を募集しています。「自分の暮らす部屋を、カレッジに参加しながら自分の手で作る」という珍しい選択肢です。自分で選んだ建材で、自分の拠点を完成させていく。そうして仕上げた空間には、きつと特別な愛着が持てるはずです。

コーポ江戸屋敷に、また新しい季節がやってきます。「カレッジに興味がある」「145号室のことをもっと知りたい」「なんとなく気になっている」どんなきっかけでも大歓迎ですので、お気軽にお問い合わせください。

スペースRデザイン なかみつ space R design



「NCN」はネコチクラネットワーク

こんにちは、ネコチクラの村上です。猫好きの間では有名な「NNN(ねこねこネットワーク)」。それは猫好きな人に子猫や野良猫を派遣し、猫・人双方が幸せに暮らせる社会を築くのがネットワークらしいです。

このコーナーの「NCN(ネコチクラネットワーク)」というタイトルは、このNNNから着想を得て、アートやサブカルチャーが好きで人とネコチクラが結び、幸せなネットワークを築いていきたいという想いを込めています。

このネットワークを築く為に、ネコチクラでは、企画ギャラリーとしてネコチクラから作家さんへ打診し展示会を開催する以外に、貸棚や公募展など、作家さんから自由に応募して参加頂ける企画も開催しています。



space R design

昨年末には、年末展「コタツ」として公募展を初開催いたしました。そして、今年6月末に2回目の公募展として、新公募展を開催予定です。

年末展は、年末の忘年会的に「交流」をテーマに、誰でも気軽に参加してほしい想いから、参加も無審査・先着順として募集いたしました。今回開催する「夏の公募展」は、ネコチクラとして注目しているサブカルチャー系の源流を感じさせる作家の中でも、特に若手作家の発掘を意識して「30歳未満(青春時代)」を取り上げる「青-blue-展」として開催いたします。

青春時代の「青」、夏の空の「青」、そして猫にとって「青」は、赤色よりも青色を鮮明に認識できる視覚特性を持っているということで、猫が安心する色であり、青い目を持つ猫は「幸運の象徴」としても考えられ、縁起の良い色でもあります。

ネコチクラでは、夏の6・7月頃に開催する「青-blue-展」と、年末12月に開催する「コタツ展」を、毎年恒例の公募展として定着させていきたいと考えています。

プラスマイナス10歳は同世代と言われるアート業界において、30歳未満はまだまだ若手。開廊2目目のネコチクラもアート業界の若手として、若手作家と一緒に成長していきたいと思ひます!

ネコチクラ 代表 村上 博史

冷泉荘入居者紹介

Grid of tenant introductions including Tetra+Graph, nano Architects, tripinsight, OPEN 準備中, ハッピーネス 旅行社, RILL BAGEL, and others.

グループ展「境界」

今回のグループ展のテーマ「境界」には、二つの意味が込められています。一つは、参加者全員がまだ未成熟な存在として、大人と子どもの狭間に立っているということ。もう一つは、4名それぞれの異なる作風が交差し合い、その境界がひとつの場で交わるということです。参加作家: Amen、かものき、楠木うみ、末吉 日時:開催中～4月12日(日) 11:00～18:00

春の古本まつり in 冷泉荘ギャラリー

古本、絵本、おやつ、ハンドメイド、ZINE [来場者特典] 手作りしおりをプレゼントいたします。(ご愛嬌) [5点以上ご購入の方へ] 嬉しいプレゼントをご用意しています。日時:4月4日(土)～4月5日(日) 11:00～18:00(最終日17:00まで)

劇団HallBrothers「春は逃げ腰」

非常口を出た先で繰り上げられる人間模様。春爛漫の中、歩き出せない人々を描いた三話の短編オムニバス。新メンバーも加え、総勢10名でお届けします! [作・演出] 幸田真洋 非常口を出た先で繰り上げられる人間模様。春爛漫の中、歩き出せない人々を描いた三話の短編オムニバス。新メンバーも加え、総勢10名でお届けします!

春の古本まつり in 冷泉荘ギャラリー

私の価値は私が決める。私のエゴは私が決める。目に毒注意なアラユウさんが紡ぐ「私のエゴ」を叩きつける。それが私のホモソールへの挑戦状です。日時:4月17日(金)～4月19日(日) 12:00～19:00(初日15:00～、最終日17:00まで)

自由文鳥 ～いつも隣の想像～

私の頭の中には、いつも文鳥がいます。ふわふわと姿を変えて現れる文鳥たちの姿を「自由文鳥」と呼び、イラストやハンドメイド作品、立体作品などで表現しています。現実と想像のあいだを軽やかに行き来する、小さなもうひとつの世界。もしよければ、この「自由文鳥」の世界をのぞきにきていただけたら嬉しいです。ちょっと不思議な文鳥たちと一緒に、お待ちしております。日時:4月24日(金)～4月26日(日) 11:00～19:00(最終日17:00まで)

自由文鳥

春になりましたね。今回はお花の話を。花といえばなんといっても桜です。お花見は楽しめましたか。百人一首では古い時代には、梅の花を詠った歌が多いですが、後半になると、花は梅から桜に変わります。紀友則(きのともりの)「久方の 光のどけき 春の日にしづこころなく 花の散るらむ」という歌があります。この紀友則は百人一首35番の紀貫之のいとこです。多くの歌会で活躍した人物です。日時:4月28日(火)～4月29日(水・祝) 28日(火)13時/15時/17時半/19時半 29日(水・祝)12時/14時半/17時半

Thunder Lens* advertisement featuring a woman cleaning a hallway and text about the lens and photography.

酒友 in 酒話 advertisement featuring a man and text about drinking and socializing.

shoe lab noppo advertisement featuring various styles of shoes and text about the store.

今日は人こそ かなしかりけれ」とあなたが亡くなったのを悲しむばかりですという歌を詠んでいます。今年の桜に感謝しつつ、来年も会いましょうと乾杯するのはいかがでしょうか。